

ニューヨーク・クラークスタウン高校生が研修旅行で本校を訪問しました。平成 28 年 6 月 27 日(月)



校長先生が米国国歌を熱唱されました



クラークスタウン高校は 2012 年度、外務省の日米青少年交流プログラムである KIZUNA Project で初めて本校を訪問しました。2013 年には研修旅行で再び来校し、その年に両校は姉妹校提携しました。2015 年には、本校生徒が外務省の日米青少年交流プログラムである KAKEHASHI Project を通してクラークスタウン高校を訪問し、英語によるプレゼンテーションで日本文化を発信しました。2016 年 3 月には語学研修で再びクラークスタウン高校を訪れています。このような相互交流を通じて両校の絆は更に強くなっています。



校長室での挨拶の後、校内見学をしました。3 年生のクラスにも行きました。



午前中は書道・美術・古典の授業に参加しました。古典の授業では英語で短歌を作りました。



午後は情報・英語そして音楽の授業に参加しました。



Welcome to Yuhigaoka High School
Clarkstown High School students!

放課後はオバマ大統領の歴史的な広島訪問を踏まえ、「平和」についての討論を行いました。本校生徒は事前研修を受けこの討論会に臨みました。生徒たちは英語でプレゼンテーションをしてクラークスタウン高校の生徒たちに自分たちの「平和」への思い・考えを伝えました。



本校の生徒からは「戦争について考えることが、戦争を風化させないために私たちにとってできることではないか」「まわりの人たちを愛することによって平和が保たれる」「日本の非核三原則を世界にもつとめられないか」という考えが述べられました。

クラークスタウンの生徒からは「国家間の行き過ぎた行為を止める能力を身につけることが、平和な未来への最も重要な一歩である。」「人々は少数民族を差別するのではなく、その多様性を受け入れるべきだ。」「戦争において人は酷いことを行なってきたが、そのようなことを二度と起こさないようにするには、過去を忘れず、そのことを口に出して伝えることが唯一の方法である。」などの意見が述べられました。

その後グループに分かれてディスカッションしました



世界の各地で発生するテロ事件が後を絶ちませんが、このような「平和」についての話し合いは、本当に有意義でした。短い時間でしたがあらためて「平和」の大切さを確信した得難い機会になりました。

「平和討論」の後、食堂で楽しい交流会を持ちました。

